

## 平成27年度 附属学校園存続のための特色化にかかわる事業実施報告書

(附属学校名 附属旭川小学校)

事業の名称	心身の健康の保持増進による学力・体力向上プロジェクト ～学校課題に対応した学力・体力向上
事業実施代表者名	林崎 俊一主幹
実施附属学校名	附属旭川小学校
事業内容 (実施内容について、 1,000字程度で記述)	<p>本事業は、体育・健康に関する指導の充実を図るとともに、家庭や地域社会と連携し、日常生活において適切な体育・健康に関する活動の実践を促し、心身ともに充実感をもたらす学力・体力の向上を図る子とを目的とした。本校においては、特に冬季の運動不足が大きく影響している。そこで、全国体力・運動能力テストの体力得点からみた課題の洗い出しと対応策の検討、非常勤講師による体力向上スーパーバイザーの配置、ランニングコースの整備(朝の持久力向上ランニング)、トレーニング指導(朝、中休み、昼休み等の体力向上の機会を設定)を実施した。</p> <p>&lt;12月～3月&gt;</p> <p>6年：附中受検に向けた体力テスト対策 5年：体力テスト対策 4年：ボールを使った運動 3年：ボールを使った運動 2年：おにごっこなど体を動かす運動 1年：おにごっこなど体を動かす運動</p> <p>※附小の森にチップを敷く</p> <p>12月は、朝、中休み、昼休みに体育館や体育館ステージを利用して実施した。自分の個人成績を把握した6年生が、それぞれ課題を明らかにし、担当教諭とともに、主に苦手な種目の克服に取り組んだ。</p> <p>1～3月は、朝は、体育館での長縄跳びや鬼ごっこを中心に実施している。中休みと昼休みは、北海道の自然を生かし、雪やそり、ボールを使った雪遊びを中心に実施している。</p> <p>持久走については、今年度は条件が整わず、実施に至っていない。</p>

<p>成果と課題 (活動の成果と課題について、500字程度で記述)</p>	<p>3学期については、現在取り組んでいる最中であるため、2学期に取り組んだ6年生の取組について報告する(12月)。体力テスト対策として取り組んだのは主に以下の4種目である。</p> <p>① 上体起こし ② 長座体前屈 ③ 反復横跳び ④ 立ち幅跳び</p> <p>まず全体の成果の概要を示す。</p> <p>指導者を付けて、具体的な数値目標をもたせて集中的に取り組んだことにより、著しい成果が見られた。下層層(D E)が13%から3%へと大幅に減り、Aが28%から66%へと倍増以上となった。</p> <div data-bbox="552 862 1275 1211" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p><b>【総合成績の変容】</b></p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="text-align: left;">○実施前</th> <th style="text-align: center;">→</th> <th style="text-align: right;">○実施後</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>A 19人(28%)</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td>A 45人(66%)</td> </tr> <tr> <td>B 24人(35%)</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td>B 14人(21%)</td> </tr> <tr> <td>C 16人(24%)</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td>C 7人(10%)</td> </tr> <tr> <td>D 8人(12%)</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td>D 2人(3%)</td> </tr> <tr> <td>E 1人(1%)</td> <td style="text-align: center;">→</td> <td>E 0人(0%)</td> </tr> </tbody> </table> </div>	○実施前	→	○実施後	A 19人(28%)	→	A 45人(66%)	B 24人(35%)	→	B 14人(21%)	C 16人(24%)	→	C 7人(10%)	D 8人(12%)	→	D 2人(3%)	E 1人(1%)	→	E 0人(0%)
○実施前	→	○実施後																	
A 19人(28%)	→	A 45人(66%)																	
B 24人(35%)	→	B 14人(21%)																	
C 16人(24%)	→	C 7人(10%)																	
D 8人(12%)	→	D 2人(3%)																	
E 1人(1%)	→	E 0人(0%)																	
<p>今後の発展性 (残された課題の解決方策及び取組の方向性について、500字程度で記述)</p>	<p>今後は、次の取組を実施したいと考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○本事業の継続した取組による体力向上を図る。</li> <li>○研究大会等における成果の発信</li> <li>○児童の体力・運動能力の向上と興味・関心の喚起と附属学校の特色ある活動としてPRする。</li> <li>○学校紹介など本校入試における受検者数の増加を図る。</li> </ul>																		
<p>事業の公表状況 (事業をHPで公開した場合、又は新聞等に掲載された場合、当該媒体名、掲載日等を記入)</p>																			

(注) 当該事業に係る写真等の参考となる資料がある場合は、この事業報告書に添付すること。